

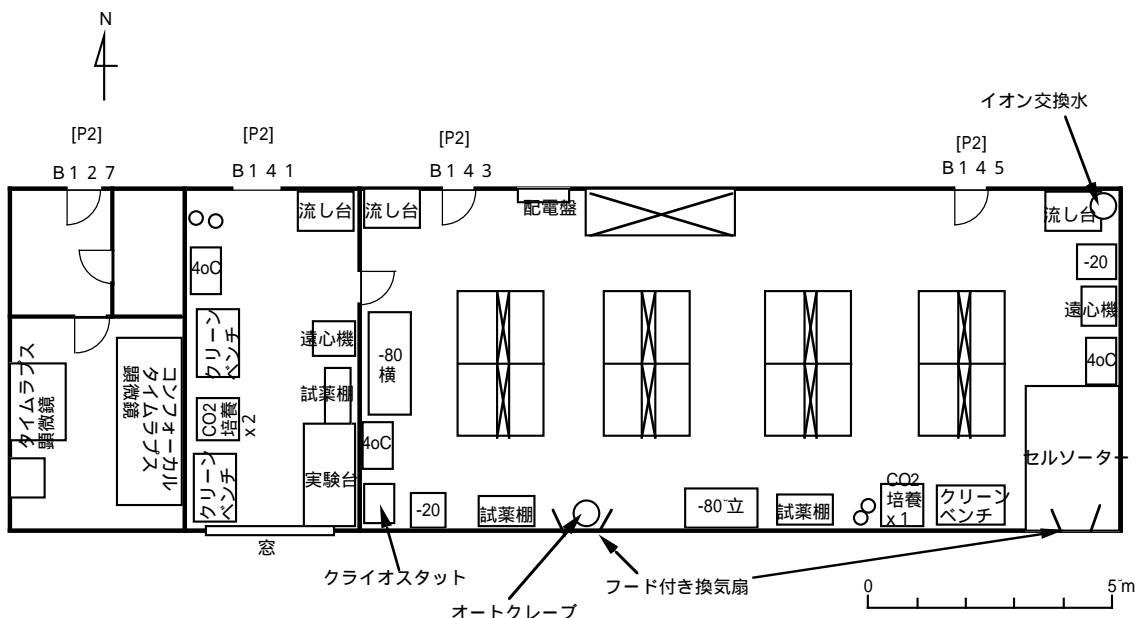
COE 拠点研究室運営規定 (21COE 研究推進委員会)

平成 16 年 3 月

平成 18 年 9 月改訂

1. COE 拠点研究室として疾患モデル解析センター(B141/143/145) 及び細胞イメージング室(B127)を設置する。
2. 疾患モデル解析センター長を置く。疾患モデル解析センター長は、COE プログラムの趣旨に添って、疾患モデル解析センターの管理と運営に関わる実務を担当する。
3. 細胞イメージング室長を置く。細胞イメージング室長は、B127(イメージング室)に設置のタイムラプスコンフォーカル倒立顕微鏡、タイムラプス倒立蛍光顕微鏡(分子細胞生物備品)などの一連の機器の管理と利用に関わる実務を担当する。
同室前室に設置された PALM-MCB レーザーマイクロダイゼクションシステムに関しては、別に装置管理責任者を置き、管理と利用に関わる実務を担当する。
4. COE 拠点研究室で使用する消耗品は利用者(講座)が負担する。

COE 拠点研究室見取り図



COE 拠点研究室の利用登録について

1. 疾患モデル解析センターの利用希望者は、疾患モデル解析センター長に連絡し、疾患モデル解析センター利用登録書(様式1)により利用登録を行う。**B143/145** 大実験室、**B141** 細胞培養室などの利用に関しては、疾患モデル解析センター長の指示に従う。
2. **B145** に設置のセルソーター(共用機器)の利用希望者は、別途セルソーター管理担当者に連絡し、セルソーター利用登録書(様式2)により利用登録^{注1)}を行う。セルソーターの利用に関しては、セルソーター管理担当者の指示に従う。
3. 細胞イメージング室に設置のタイムラプスコンフォーカル倒立顕微鏡、タイムラプス倒立蛍光顕微鏡(分子細胞生物備品)などの利用希望者は、細胞イメージング室長に連絡し、細胞イメージング室利用登録書(様式3)により利用登録を行う。細胞イメージング室の利用に関しては、細胞イメージング室長の指示に従う。**PALM-MCB**レーザーマイクロダイゼクションシステムの利用に関しては、装置管理責任者に連絡し、上記登録書(様式3)により利用登録を行う。装置の利用に関しては装置管理責任者の指示に従う。
4. 上記、各利用登録は、利用者個人単位で隨時行い、必要に応じて年度毎に再登録する。実験内容を追加、変更する際は、新たに登録することとする。
5. 疾患モデル解析センター及び細胞イメージング室の利用者が、相互の実験内容をできるだけ把握すると同時に、事故がないようにする目的で、利用登録書をそれぞれの部屋に備え付け、利用者に閲覧可能とする。(利用登録書には、知的財産権などの観点で差し支えない範囲で、できるだけ具体的に実験内容を記載する。)

注 1) セルソーターの利用のみを希望する場合、疾患モデル解析センターの利用登録は不要とする。

COE 拠点研究室の利用に際して遵守すべき点

共通事項

- 1) 遺伝子組換え実験を行う場合は、国の規制法及び大学の安全管理規定に従う。実験室(B127, B141, B143, B145)はいずれも P2レベルの実験室とするが、エアロゾルを生じやすい操作は行わない。
- 2) 大腸菌等の細菌類、酵母菌等の真菌類、ウィルスの培養やこれらを用いた感染実験は行わない。
- 3) ヒト由来の材料を用いた実験を行う場合は、国の指針及び大学の倫理規定に従うとともに、感染の危険性のある細菌、ウィルス等により汚染した組織、細胞等は持ち込まない。
- 4) 使用後の実験器具やゴミは利用者が責任を持って始末する。細胞培養液の廃液や細胞培養器具のゴミは B143 に備え付けの加圧滅菌装置で滅菌後廃棄する。

1. 大実験室(B143/145)。

- 1) 動物の飼育は行わない。当実験室における解剖等、動物の取扱いに際しては別に定める規定(資料1)に従う。
- 2) その日最後に退室する者は、B141 内も含め火元等を確認の上、消灯、施錠する。鍵は開錠時には実験室内所定の場所に保管し、施錠後は守衛所に返却する。

2. 細胞培養室(B141)

- 1) 廊下に面した扉は締め切りとし、B143 側の扉から入退室する。
- 2) その日最初に入室する者は、殺菌灯を消灯した後、照明灯を点灯する。
- 3) 入室に際しては履物を変え、手指の洗浄、消毒を行う。
- 4) 動物の飼育、解剖は行わない(摘出した組織を無菌的に処理する作業は可)。
- 5) その日最後に退室する者は、火元等を確認の上、照明灯を消灯し、殺菌灯を点灯する。

3. イメージング室(B127)

- 1) 鍵は B123/125 と別に管理し、必要時に守衛所より借り受ける。鍵は開錠時には実験室内所定の場所に保管し、施錠後は守衛所に返却する。
- 2) 顕微鏡を用いた自動写真撮影を行う実験室であることに留意し、ドアの開閉は静かに、また照明灯の点灯の際には写真撮影中でないことを確認する。
- 3) イメージング室に設置のコンフォーカル顕微鏡等の機器の使用に際しては、別に定める規定(資料2)に従う。
- 4) イメージング室に設置の PALM-MCB レーザーマイクロダイゼクションシステムの利用に際しては、別に定める規定(資料3)に従う。

以上

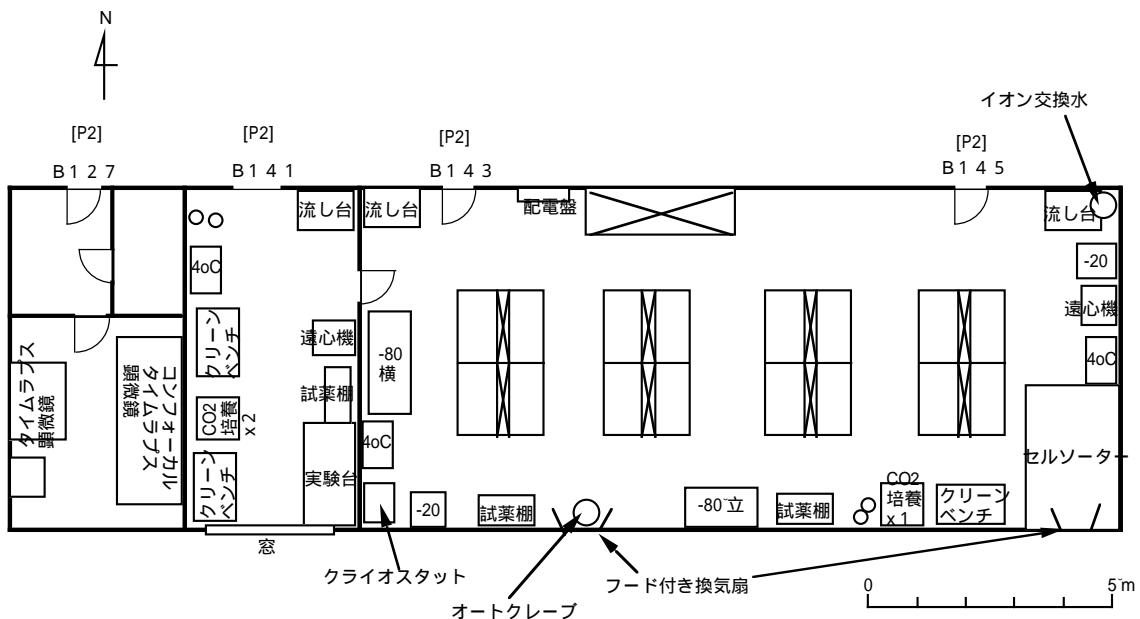
疾患モデル解析センター長
平井秀一 分子細胞生物・助教授
連絡先電話: 787-2597 e-mail: sh3312@med.yokohama-cu.ac.jp

細胞イメージング室長
鈴木厚 分子細胞生物・講師
連絡先電話: 787-2597 e-mail: abell@med.yokohama.cu.ac.jp

セルソーター管理責任者
谷口英樹 臓器再生医学・教授
連絡先電話: 787-2621 e-mail: rtanigu@med.yokohama-cu.ac.jp

PALM-MCB レーザーマイクロダイゼクションシステム管理責任者
秋本和憲 分子細胞生物・助手
連絡先電話: 787-2597 e-mail: akimoto@med.yokohama-cu.ac.jp

COE拠点研究室見取り図



(様式1)

疾患モデル解析センター利用登録書

下記の研究課題での横浜市立大学医学部疾患モデル解析センターの利用を申請します。
利用にあたっては利用規定を遵守します。

平成 年 月 日

研究課題:

疾患モデル解析センターで行う実験の詳細(知的財産権などの観点で差し支えない範囲で、
できるだけ具体的に記載する)

利用者氏名

所属

職

連絡先電話番号(必須)

メールアドレス(必須)

責任者氏名

所属

職

(様式 2)

セルソーター利用登録書

下記の研究課題での横浜市立大学医学部共用機器セルソーターの利用を申請します。
利用にあたっては利用規定を遵守します。

平成 年 月 日

研究課題:

セルソーターを用いた実験の詳細(知的財産権などの観点で差し支えない範囲で、できるだけ具体的に記載する)

利用者氏名

所属

職

連絡先電話番号(必須)

メールアドレス(必須)

責任者氏名

所属

職

(様式 3)

細胞イメージング室利用登録書

下記の研究課題での横浜市立大学医学部細胞イメージング室の利用を申請します。
利用にあたっては利用規定を遵守します。

利用希望装置に丸をつけること。

- タイムラプスコンフォーカル倒立顕微鏡、
- タイムラプス倒立蛍光顕微鏡
- PALM-MCB レーザーマイクロダイゼクションシステム

平成 年 月 日

研究課題:

細胞イメージング室で行う実験の詳細(知的財産権などの観点で差し支えない範囲で、できるだけ具体的に記載する)

利用者氏名

所属

職

----- ----- -----

連絡先電話番号(必須)

メールアドレス(必須)

----- ----- -----

責任者氏名

所属

職

----- ----- -----

実験動物の取り扱いについて

- 動物センターの規則を順守すること。
- 指定された場所でのみ解剖すること。
- 生きた動物を1晩以上放置しないこと。
- 飼育ケージは当日中に動物センターに返却すること。
- 使用後は実験台及び器具を洗浄・消毒すること。
- 動物の死体及び器具を放置しないこと。
- 扱う動物についての情報(特に感染状況)を疾患モデル解析センター長に通知すること。

以上を守れない人には疾患モデル解析センターの使用を中止してもらいます。

細胞イメージング室(B127)利用案内

- ① 利用希望者は個人単位で細胞イメージング室室長(鈴木:ex 2598)に連絡し、利用登録書(様式3)に記入の上、隨時登録をするものとする。
- ② 登録料の徴収は行わない。ただし、disk confocal systemの使用に対しては主としてレーザー使用の対価(Ar/Kr レーザー約120万円/ 寿命保障期間1000hr)にもとづいた使用料(1000円/hr)を使用の次年度に徴収する。使用料は使用記録簿にもとづき各講座単位の総額として計算し、室長より使用者(各教室)に連絡した上で年度始めに各講座費より徴収する。これによる収入は主としてレーザー交換に備えて備蓄するとともに、拠点研究室の運営、充実に必要な物品の購入に適宜充てる。年度末に使用者に対して会計報告を行う。使用料に関しては、必要に応じて改定する。
- ③ 利用者は、室長の指示に基づいて使用法講習を受ける。それ以後の使用においては講習の内容にもとづき、機器の精確・安全な使用に努める(機器の故障防止に関わる重要な注意点がいくつか存在する)。機器の破損や異常を認めた場合には、速やかに室長に連絡する。
- ④ 利用にあたっては、分子細胞生物学教室にある使用予定表に使用希望日時を記入・予約する。使用後は、使用記録簿に使用時間などを記入する。
- ⑤ 原則として、生細胞のタイムラプス観察を目的とした実験での利用を優先する。固定サンプルのデータ採取のための利用はスケジュール上調整可能な場合に限るものとする。
- ⑥ 細胞イメージング室の鍵は他の拠点研究室(B123/125)とは独立に、必要時に利用者が守衛室より借り受け、施錠・返却まで責任を持って管理する。開錠時には、実験室入ってすぐ左にあるフックにかけておく。
- ⑦ 自動写真撮影は振動や照明の点灯などに注意が必要である。使用に際しては部屋に付属の「使用中ランプ」を点灯させるとともに、使用者名(および内線番号)をドアに設置されたホワイトボードに記入する。また、他の利用者が利用していると思われる(「使用中ランプ」が点灯している)部屋に入室する際は、十分注意を払う。
- ⑧ サンプルに用いる動物細胞は、前もって各研究室、あるいは疾患モデル解析センター付属の培養室(B145)で継代培養し、観察の際に持ち込むこととする。但し、観察細胞の数日間の維持は、細胞イメージング室設置の小型 CO₂ インキュベーターで可能である。尚、本拠点研究室は P2 レベルの実験室として申請中する予定であるが、研究室内でのウィルス感染実験等は禁止する。
- ⑨ 観察に付随する必要な消耗品は、常識の範囲内で拠点研究室内に備えてあるものを使用してもよい。ただ、不足が予想される場合などは、適宜判断して補充を行うこと。

P ALM-MCB レーザーマイクロダイゼクションシステム利用規定

(<http://bioimage.med.yokohama-cu.ac.jp/PALM-MCB>)

(総則) 本規程は 21 世紀 COE プログラム予算で購入した PALM-MCB レーザーマイクロダイゼクションシステム(以下、装置)の使用法を規定するものである。本規程に特に定めている以外の事項はすべて COE 抱点研究室(疾患モデル解析センターおよび細胞イメージング室)の利用規程に準ずる。

- 1) (装置の設置場所および利用者資格) 装置は B-127 に設置され、定められた利用登録を行った研究者の利用を認める。
- 2) (利用者登録) 利用者は登録制とする。上記サイトから登録書をダウンロードして記入し、管理者に提出すること。自動的に利用者はメーリングリストに登録されることとする。
- 3) (各部門利用代表者) 各部門で利用代表者を 1 名選定する。利用代表者は各部門の利用者に装置の使用法を、責任を持って教育する。
- 4) (利用時間の制限と予約法) 装置の使用は 1 回連続 6 時間までとする。予約は上記サイトを通じて行うこと。確固とした実験計画の上で、装置を利用する日時に予約すること。
- 5) (予約のキャンセル) 当日および前日に予約をキャンセルする際には、メーリングリストにキャンセルしたことを送信し、上記サイトから、その予約を消去すること。
- 6) (利用記録簿) 利用者は備え付けの利用記録簿に必要事項(利用日時、利用者名、所属、利用時間、消耗品などの交換、装置の状態など)を記入すること。
- 7) (画像データの保存) 画像データは装置付属のコンピュータ内に保存せず、各自の持参したメディアに移した後に、付属コンピュータから消去する。コンピュータに保存した場合、データの保全に関しては保証されない。
- 8) (消耗品) 消耗品は各教室で準備すること。
- 9) (感染対策) ヒト検体の取り扱いに関して
 - a) ウィルス等病原体に感染の恐れのある検体の取り扱いに習熟もしくは教育を受けた者のみが使用すること。
 - b) 教育に関しては各教室利用代表者が責任をもって行うこと。
 - c) 固定した検体を使用すること。新鮮未固定検体は使用不可とする。
 - d) 病原体(肝炎ウィルス、梅毒、HIV、HTLV、変異型プリオンなど)の感染が確認された検体は使用不可とする。
 - e) 試料作成までは各部門で行うこと。試料作成に COE 抱点研究室(B143)の装置を利用することはできない。
 - f) 装置利用後は備え付けの消毒薬(クライオセクト)で消毒すること。
- 10) (装置のトラブル) 装置のトラブルや不具合が生じた場合、各部門の利用代表者を通

じて、管理者に申し出ること。

- 11) (規程の変更) 本規程は隨時、見直しされ、必要に応じて改訂される。
- 12) (補足) 本規程は平成18年9月12日より施行される。

平成18年9月5日

管理責任者:秋本和憲(分子細胞生物)

連絡先;(内)2597 もしくは(E-mail)akimoto@med.yokohama-cu.ac.jp